

●学習指導プラン【小学校 第6学年 理科】

学習内容	<p>「電気と私たちの暮らし」          前時までに調べた様々な発電方法に対する理解をもとに、福島の未来も含めこれからの時代にふさわしい発電方法について、意見を交流し合いながら考える。</p>		
ねらい	<p>人と環境のつながりを意識しながら、持続可能なエネルギー供給のための発電の仕組みについて、自分なりの考えをもつ。</p>		
段階	学習活動・内容	時間	○指導上の留意点 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評価（評価方法）</span>
問題把握	<p>1 今まで調べた発電方法の特徴を振り返る。</p>		<p>○それぞれの発電方法のメリットとデメリットを整理することを通して、将来の発電のあり方に対する関心を深められるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>将来はどのような発電が望ましいのだろう。</p> </div>
問題追究	<p>2 発電方法ごとに、視点を絞って特徴を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発電方法と資源</li> <li>○ 発電方法と温暖化</li> <li>○ 発電方法の電力安定供給</li> </ul> <p>3 疑問点を調べ直す。</p>		<p>○視点を絞り込んで発電方法を見直すことにより、異なる視点で見つめ直す見方を育てる。</p> <p>○全体で議論を進めることにより、それぞれの考えを共有するとともに、異なる考えを取り入れて考え直すよさを実感させる。</p> <p>○話し合いで生じた疑問点を中心に、再度調べ学習を行うことにより、主体的に自分の考えを整理する意識をもたせる。</p>
まとめ	<p>4 理想的な発電システムをまとめる。</p>		<p>○現段階での発電に対する自分なりの考えや疑問点を整理することを通して、さらに追究したい内容を意識させることにより、コミュタン福島見学に対する目的意識をもたせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>福島の将来の電力について具体的な方策をイメージしている。              （発言・ノート）</p> </div>
作成推進校	福島市立岡山小学校		

## 【実践成果】

本時は、発電所の仕組みに関して子どもたち一人一人が調べ学習を一通り終えた後の時間で、それぞれが調べた内容を発表し合いながら発電所の仕組みについて情報を共有することが目的の時間である。

しかし、単にそれぞれの発電の仕組みを共有するだけで終わらず、メリット・デメリットという視点で整理を行うことにより、発電と「人間の生活」「資源」「地球環境」などのかかわりに自然と気付くことができ、それらを意識した未来のエネルギーのあり方に強い関心を抱かせることができた。

結果的に、総合でのコミュタン福島見学が理科の追究課題と重なり、教科や時間を横断的に扱う追究活動の展開を進めることができた。

<成果>

- 子どもたち一人一人が調べた発電の仕組みに関する「メリット」と「デメリット」に視点をあてて整理することにより、「人類のエネルギー消費」「資源の枯渇」「環境汚染」など様々な問題とのつながりを自然と意識する姿が見られた。
- 電力供給という視点を最初に扱って話し合いを行うことにより、自分自身の生活とのかかわりの深さを実感し、様々な社会問題が遠い世界の話ではなく、自分自身もその一翼を担っているという責任感を抱く姿が見られた。
- 視点を絞った話し合いの後に、再度調べ学習の時間を確保することにより、自分の追究課題を明確に意識しながら情報を取捨選択し、得られた情報をもとにつなげて考える姿が見られた。
- 本時の学びを通して追究課題を明確に意識させることにより、コミュタン福島での見学・体験学習に対する意欲を高めることができた。

